

## 西脇市立学校学習環境規模適正化の捉え方（案）

### 1 本市における「学校学習環境」に含めたい5つの論点

#### (1) 本市における**適正な「学級規模・学校規模」**

- ・ 1学級の人数、1学年の学級数
- ・ 小・中学校における学級規模・学校規模
- ・ 学級規模に係る国の動き（コロナ感染・被災対応 等）
- ・ 市内の現状 等

#### (2) 本市にとって**適切な「教育指導システム」**

- ・ これから求められる資質・能力
- ・ 社会が変わり・学びが変わる時代
- ・ 小中連携教育と小中一貫教育
- ・ 義務教育学校
- ・ 小学校における教科担任制
- ・ 部活動・クラブ活動 等

#### (3) 次代が求める学び・人材育成の観点を踏まえた**適切な「学習環境」**

- ・ 本市が求める人材とその育成
- ・ G I G Aスクール（公正・個別に最適化された学びへ）
- ・ 「チーム学校」専門家人材の登用
- ・ 個別支援の充実
- ・ 変化する外国語・英語教育
- ・ 社会に開かれた教育
- ・ 生きて働く学力
- ・ 持続可能な教育施設管理 等

#### (4) 本市における**適切な「学校支援環境」（適正な職場としての学校現場）**

- ・ 学校支援体制の構築
- ・ 学校現場における働き方改革
- ・ 地域・家庭教育力維持・向上

#### (5) 本市における**適正な「学校配置」**

- ・ 本市のまちづくり計画
- ・ 本市立地適正化計画 等

### 2 その他、「学校学習環境」に含めたい追加論点